表した4D動画を、同シリーズの3Dソフト「ウォークインホーム・プラス」の住宅CGパースで制作することができ、時間の経過を踏まえながら、マイホームでの暮らしをより現実的にイメージできる。

「施主の思いを工務店など業者に共有してもらうことにもつながる。そのための懸け橋になれれば」と語る。

マイホームを建てる前に〝4D動画〟で疑似体験

「戸建て住宅の設計はそこでの生活をより具体的にイメージできるかが大事だ」と話すのは、住宅営業支援ソフトの製造販売を手がける**安心計画**（福岡市）の**小山田隆広社長**。同社はVRを使って完成後の室内などを疑似体験できるソフトが得意分野で、中でも興味深いのが、4D技術を使ったソフトだ。

4Dとは、3Dにもう一つの要素を加え、より臨場感を増幅させる手法。同社は建築プレゼンテーション支援ソフト「ウォークインホーム・プラス4D」にこれを導入。季節や天候の移り変わりをCGで